



2026年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月9日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
コード番号 2438 URL <https://www.asukanet.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 大吉朗
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第1四半期の連結業績(2025年5月1日～2025年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第1四半期	1,646	△3.7	△17	—	△1	—	△6	—
2025年4月期第1四半期	1,710	—	△25	—	△25	—	△23	—

(注) 包括利益 2026年4月期第1四半期 △1百万円(—%) 2025年4月期第1四半期 △20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第1四半期	△0.43	—
2025年4月期第1四半期	△1.42	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第1四半期	6,044	5,250	86.9
2025年4月期	6,349	5,386	84.8

(参考) 自己資本 2026年4月期第1四半期 5,250百万円 2025年4月期 5,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年4月期	—	—	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日～2026年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,580	4.4	435	150.5	450	151.4	261	—
								16.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年4月期1Q	17,464,000株	2025年4月期	17,464,000株
2026年4月期1Q	1,838,046株	2025年4月期	1,759,346株
2026年4月期1Q	15,679,470株	2025年4月期1Q	16,323,879株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しや、旺盛なインバウンド需要の増加などにより、国内の景気は底堅く推移している一方で、米国の通商政策の動向や、中東・ウクライナ情勢の不安定化など海外情勢による下振れ懸念により、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境の中、当社は、景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し、遺影写真等画像映像のデジタル加工や通信出力サービスを主に提供するフューネラル事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するフォトブック事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指す空中ディスプレイ事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部売上を含んでおります。

(フューネラル事業)

当事業におきましては、自社営業による新たな葬儀社との契約獲得は堅調であったものの、全国的な葬儀件数が減少傾向であったため、主力である遺影写真加工収入が前年同四半期比で減少を余儀なくされました。また、葬儀社向けDXサービス「tsunagoo」は順調に伸長したものの、ハードウェア売上や額売上が想定を下回る結果となりました。

6月に開催された展示会「フューネラルビジネスフェア2025」に出展し、写真整理サービスや遺す写真展を紹介したほか、写真が映画のワンシーンのように動き出す感動的な映像サービス「snapCINEMA」をリリースし、高い評価を受けました。

利益面につきましては、遺影写真加工収入の減少が響くとともに、人件費やクラウドサービス利用料の増加もあり、セグメント利益は苦戦いたしました。

以上の結果、売上高は760,846千円（前年同四半期比97.3%）、セグメント利益は99,549千円（前年同四半期比75.0%）となりました。

(フォトブック事業)

当事業では、プロフェッショナル写真家向け市場は「アスカブック」、一般消費者向け市場は「マイブック」ブランドで展開しております。また、スマートフォンで撮影された写真からフォトブックや写真プリントをOEM供給しております。

プロフェッショナル写真家向け市場では、主力であるウェディング市場は、挙式の小規模化や写真のデジタル化指向により、伸び悩みました。取組みとしましては、大手顧客との関係強化に努め、オンラインセミナーの実施に加え、「PHOTONEXT2025」へ出展し、新製品やAI画像処理レタッチソフトを紹介いたしました。

一般消費者向け市場においても、海外旅行の回復遅れや撮影写真のアウトプット減少の戻りが遅れている状況が継続しており、自社ブランド「マイブック」、OEMとも売上は前年同四半期比微減となりました。施策としましては、価格改定の実施、マイブックサイトのリニューアル、ファンミーティングの企画などを進めてまいりました。

利益面につきましては、原材料価格が高騰する中、減価償却費の減少や、生産効率向上により人件費の抑制に努めた結果、セグメント利益は回復いたしました。

以上の結果、売上高は874,420千円（前年同四半期比98.0%）、セグメント利益は128,540千円（前年同四半期比130.1%）となりました。

(空中ディスプレイ事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指しており、独自技術により空中結像を可能にする「ASKA3Dプレート」について、ガラス製、樹脂製それぞれを開発、製造、販売しております。

経営体制の変更に伴い、営業体制の強化や営業方針の変更を行い、第1四半期はその仕込みや準備を中心に進めてまいりました。国内における営業面につきましては、XRチームと合流し、空中結像の体験価値を訴求し、コ

ンテンツや筐体を含めたパッケージでの提供を進めるなか、7月には「第17回 コンテンツ東京 イマーシブテクノロジーEXPO」に出展し、地域や企業のソリューションとして有効な「観光」「エンタメ」「教育」分野における最先端のコミュニケーション体験の提案をいたしました。また、モデルルームや科学技術館などでの設置実績を重ねてまいりました。海外では、東南アジアや韓国での代理店活動をサポートする一方、活動が振るわなかった米国代理店との契約を更新しないなど代理店の選択も進めてまいりました。エンターテインメント分野においては「めいぷるみーと」のサービス展開強化としてサイトの立ち上げ、自社主催イベント「第2回おりづるVTuberフェス」の準備、SNSの情報発信を積極的に行うとともに、コンシューマ向けパッケージ製品「浮空ライブステージHome」の試作販売を企画いたしました。

製造・開発面につきましては、自社技術開発センターにおいて大型サイズのガラス製ASKA3Dプレートの試作にトライしてまいりました。

損益面につきましては、XRチーム合流による人件費の増加や能動系を中心とした特許関連費用の増加があったものの、海外展示会の出展控えや旅費交通費の絞り込みにより、セグメント損失は前年同期より若干縮小いたしました。

以上の結果、売上高は13,894千円（前年同四半期比37.1%）、セグメント損失は82,058千円（前年同四半期は85,100千円の損失）となりました。

以上の結果、売上高は1,646,971千円（前年同四半期比96.3%）となり、利益面につきましては、フューネラル事業がセグメント減益を余儀なくされましたが、フォトブック事業での粗利率の回復や、全般的な経費コントロールなどにより、経常損失は1,964千円（前年同四半期は25,089千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,700千円（前年同四半期は23,248千円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ305,120千円減少し、6,044,106千円となりました。これは主に、現金及び預金が291,474千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ169,265千円減少し、793,607千円となりました。これは主に、未払金が54,921千円、未払法人税等が49,602千円、賞与引当金が84,645千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ135,855千円減少し、5,250,498千円となりました。これは主に、剰余金の配当109,932千円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月10日に発表いたしました2026年4月期連結業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,686,873	1,395,399
受取手形及び売掛金	824,760	807,544
商品及び製品	379,964	379,430
仕掛品	32,350	33,401
原材料及び貯蔵品	96,893	98,501
その他	62,889	45,917
貸倒引当金	△10,166	△9,671
流動資産合計	3,073,565	2,750,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	755,156	749,902
機械装置及び運搬具（純額）	398,823	377,142
土地	844,060	844,060
その他（純額）	157,991	169,423
有形固定資産合計	2,156,032	2,140,530
無形固定資産		
のれん	260,325	250,683
その他	191,325	180,565
無形固定資産合計	451,650	431,249
投資その他の資産		
投資有価証券	331,602	339,059
繰延税金資産	226,487	225,140
その他	109,888	157,603
投資その他の資産合計	667,978	721,803
固定資産合計	3,275,661	3,293,583
資産合計	6,349,226	6,044,106

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	172,395	169,305
未払金	293,956	239,035
未払法人税等	62,602	13,000
前受金	16,111	13,618
賞与引当金	181,640	96,995
その他	230,625	257,916
流動負債合計	957,331	789,871
固定負債		
退職給付に係る負債	4,343	2,897
その他	1,197	838
固定負債合計	5,541	3,736
負債合計	962,872	793,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	624,759	624,759
利益剰余金	5,247,868	5,131,235
自己株式	△1,012,228	△1,036,738
株主資本合計	5,350,699	5,209,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,654	40,942
その他の包括利益累計額合計	35,654	40,942
純資産合計	5,386,354	5,250,498
負債純資産合計	6,349,226	6,044,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
売上高	1,710,415	1,646,971
売上原価	991,809	931,795
売上総利益	718,606	715,176
販売費及び一般管理費	744,287	732,998
営業損失(△)	△25,681	△17,821
営業外収益		
受取利息	991	913
受取配当金	950	1,225
為替差益	—	2,141
保険金収入	—	11,082
その他	539	572
営業外収益合計	2,481	15,935
営業外費用		
為替差損	1,335	—
自己株式取得費用	540	73
その他	13	4
営業外費用合計	1,889	78
経常損失(△)	△25,089	△1,964
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,089	△1,964
法人税、住民税及び事業税	△1,840	4,736
法人税等合計	△1,840	4,736
四半期純損失(△)	△23,248	△6,700
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,248	△6,700

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
四半期純損失(△)	△23,248	△6,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,189	5,287
その他の包括利益合計	3,189	5,287
四半期包括利益	△20,058	△1,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,058	△1,412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フューネラル 事業	フォトブック 事業	空中ディス プレイ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	781,837	891,102	37,475	1,710,415	—	1,710,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,435	—	1,435	△1,435	—
計	781,837	892,537	37,475	1,711,850	△1,435	1,710,415
セグメント利益 又は損失 (△)	132,652	98,817	△85,100	146,369	△172,051	△25,681

(注) 1 セグメント利益の調整額△172,051千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フューネラル 事業	フォトブック 事業	空中ディス プレイ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	760,846	872,230	13,894	1,646,971	—	1,646,971
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,190	—	2,190	△2,190	—
計	760,846	874,420	13,894	1,649,162	△2,190	1,646,971
セグメント利益 又は損失 (△)	99,549	128,540	△82,058	146,032	△163,853	△17,821

(注) 1 セグメント利益の調整額△163,853千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	88,732千円	68,546千円
のれんの償却額	9,641千円	9,641千円